

議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。

一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

自転車盗について



角田 議員

問 令和7年中の市内における自転車盗の認知件数と犯罪認知件数のうち、自転車盗の割合は。

答 9月末現在で84件、犯罪認知件数のうち自転車盗の割合は28・4％となっており、市における犯罪種別の中では一番多いものとなっている。

問 刑法犯認知件数の大きな割合を占める自転車盗の減少に向けた防犯対策は。

答 盗難された自転車の多くは鍵をかけていない無施錠の状態であり、まずは自転車所有者の施錠の徹底と複数の鍵の併用が効果的であると考えている。

問 有料駐輪場が少ない頃は、駅周辺などにそのまま駐輪していたため、自転車盗が多かった。矢野口駅などに有料駐輪場がで

き、自転車盗も減ると思ったが、なじまない人も多く、空き地に駐輪していた。その後、高額な自転車が増え、有料駐輪場への駐輪が日常になったが、無施錠の自転車を多く見かけ、多摩稲城防犯協会の役員会で話したところ、京王よみうりランド駅な

どの駐輪場を防犯協会の役員と多摩中央警察署と視察することになった。無施錠の自転車を約20台見つけ、注意喚起のパンフレットを自転車のかごに入れ、防犯対策を行った。改めて、市の自転車盗に対する防犯対策は。

答 青パトでの巡回や、自転車の施錠を促す啓発ポスターの掲示のほか、市や自治会などが防犯カメラを設置していることでの抑止効果にも期待している。

市民や利用者の立場にたったバス路線の再見直しについて



山岸 議員

問 路線見直しに当たり、市民や利用者の声を反映することについて、市民や利用者から出された意見や要望の稲城市地域公共交通会議での検討方法は。

答 稲城市地域公共交通会議での検討方法は、10月22日に開催した稲城市地域公共交通会議において、市民意見聴取会などにおける市民からの意見などについて、委員に説明を行い、稲城市コミュニティバス第3期見直しにおける見直し方針に照らし合わせて協議を行った。

問 新路線の運行開始までの今後の進め方は。

答 市民意見聴取会で示したダイヤ案を基本とし、今後、バス事業者と詳細な調整を行い、12月に開催予定の令和7年度第4

回稲城市地域公共交通会議にてダイヤなどを決定し、新たな路線での運行に向け、運輸局への路線認可申請などの手続を進めていく予定である。

問 新路線の市民への周知方法や時期について、新路線運行開始後も、利用状況、市民や利用者の要望に基づき、路線の再見直しを行っていくことについて、認識は。

答 新路線の市民への周知は、市広報や市ウェブサイトをなどで適切な時期に周知を図りたい。また、新路線運行後の対応は、バス乗降調査などによる検証などを行うとともに、稲城市地域公共交通会議の中で必要に応じて協議したい。

公民連携による観光資源の整備について



土居 議員

問 京王よみうりランド駅周辺の賑わい創出の取り組みとあわせ、(仮称)根方谷戸公園整備は市の公共的価値を高めるために活用する必要がある。利便性の向上と活力あふれるまちにするため、観光資源としての推進を、読売グループとの更なる連携に加え、令和8年2月にオープンするポケパークカントーが有する世界最大のメディアコンテンツ「ポケモン」との連携を推進する目的で質問する。(仮称)根方谷戸公園の基本認識と観光資源としての役割は。

答 駅からTOKYOGIANTSTOWNまでの導線に位置し、玄関口としての公園であり、新たな観光スポットであると認識している。

問 TOKYOGIANTSTOWNに隣接または近隣の道路や公園などの名称や愛称として「ジャイアンツタウン」を冠し、地域の価値創造に向けた取り組みについては。

答 都道は市の管轄ではないが、市が管轄する道路は、ネーミングライツ制度に基づき、地域の活性化や賑わいの創出に向け検討していきたい。また、TOKYOGIANTSTOWNに隣接する(仮称)根方谷戸公園の愛称については、本公園の指定管理開始予定の令和9年度以降にネーミングライツ制度に基づき検討していきたい。

問 2025年読売ジャイアンツ秋季キャンプに際しての市の取り組みについては。

問 ポケモンは知的財産権による世界の市場規模が13兆円を超える。世界初の屋外施設ができることを好機と捉え、それらコンテンツを活用するため、読売グループおよび「ポケモン」との連携については。

答 読売グループとのコンテンツを活用した連携は、引き続き進める。「ポケモン」については、ポケパークカントーとどのような形で連携できるか研究する。

問 (仮称)根方谷戸公園の今後の観光資源としての取り組みは。

答 公園が持つポテンシャルや周辺観光スポットとの連携などを含め、読売グループと協議をしながら今後の進め方を研究していく。

(案)ジャイアンツタウン通り等の施設愛称や、読売ジャイアンツ秋季キャンプの機運醸成によるシビックプライドのさらなる醸成について



梶浦 議員

答 秋季キャンプ初日に市長が表敬訪問し、ジャイアンツの選手にエールを送った。また、庁舎内では、秋季キャンプ期間中を応援ウィークと位置づけ、練習に励む選手たちを応援するために、窓口業務を担う職員を中心に、チームカラーの読売ジャイアンツレプリカユニホームを着用して勤務した。

問 読売ジャイアンツの秋季キャンプが市内で行われていることを積極的に周知し、シビックプライドの更なる醸成を図ってもらいたい。市の見解は。

答 市の知名度向上や地元経済の活性化につながるだけではなく、市民にとって地域への愛着やシビックプライドの醸成にも寄与すると考えている。

学童クラブの現状と拡充について



榎本 議員

問 保育園の待機児童問題と同様に、学童クラブも放課後の安全・安心な居場所づくりとして必要不可欠な存在であり、喫緊の課題である。直近3年間の学童クラブの登録児童数および申請したが入所できなかった児童数は。

答 直近3年間の学童クラブに入所が決定した登録児童数は、令和5年度は989人、令和6年度は1016人、令和7年度は1012人である。申請したが入所できなかった児童数は、令和5年度は146人、令和6年度は140人、令和7年度は143人である。

問 申請したが入所できなかった児童の解消に向けて、施設整備や人材確保について、どのよ

うな支援策を検討しているのか。

答 施設の整備としては、受け入れ定員の見直しなどの柔軟な対応をし、次に、人材確保については、安定した確保に向け、人件費について補助を行うなど、引き続き行っていく。

問 待機児童の増加が見込まれる懸念もある。都では、子供と保護者のニーズに応える多様なサービスを提供する都認証学童クラブ事業を開始した。事業実施に向けて市の見解は。

答 都認証学童クラブは、「放課後児童健全育成事業」において都知事が認証する学童クラブと認識している。事業実施に向けては様々な条件があるため、市民ニーズなども勘案していく。

矢野口地区のまちづくりの進捗状況について



池田 議員

問 川崎街道から旧鶴川街道の区間について、現在の進捗状況と今後の整備スケジュールは。

答 今年度に全ての用地取得が完了し、上下水道工事などのインフラ整備工事を実施している。引き続き、インフラ整備工事、道路築造工事を行うとともに、関係機関と調整を図りながら、令和10年度の整備完了を目指し、取り組んでいく。

問 多7・5・3号宿榎戸線と川崎街道との交差点形状などは。

答 市では、警視庁に対し、既存の市道5号線との交差点を残したまま、多7・5・3号宿榎戸線との新たな交差点に信号機などの設置を要望し、協議してきた。しかし、警視庁は、2つの交差点が近接しているため、

両方を交差点とすることはできないと判断し、信号機などを新しい交差点に移し、現在の市道5号線との交差点は廃止される。

問 新しい交差点整備後の南北の移動について市の考えは。

答 川崎街道南側から北側に行く場合は、多7・5・3号宿榎戸線を経由し、川崎街道を右折し、市道5号線へ左折するなどが見定される。また、既存の交差点が廃止になることにより、川崎街道を左折できなくなるため、川崎街道北側から南側へ行く場合には、宿三谷公会堂前の旧川崎街道を経由し、ルネ稲城マンション前にある交差点から川崎街道を右折し、多7・5・3号宿榎戸線を左折するなどが想定される。